

いくつになっても、愛が命の原点

—幸福の可能性を決める選択とは—



講師略歴：名まえ 太田 仁（おおた じん）

梅花女子大学心理こども学部心理学科・大学院心理臨床学専攻科 教授 社会学博士（社会心理学）

梅花高校・中学校 校長

著書：「心を観る・識る・支えるための28章」（ナカニシヤ出版）「たすけを求めにくい親の実体と

サポート」（ナカニシヤ出版）「家族をつなぐカウンセリング—自分と家族にやさしくするために—」

「たすけを求める心と行動—援助要請の心理学—」（金子書房）

【講演要旨】

1. 夢は逃げません♡、逃げるのはいつもあなた自身なのです(¬_¬)/~~~~ピシー!ピシー!

2. なにもかも失ったと嘆いても、まだ未来が残っているのです(*^。^*)

3. 私たちは幸せを目の前にすると、急に臆病で不安になります。そしてなぜか、不幸に耐えることをより選んでしまいます。(¬_¬)

4. 人生に老後などありません。いつも、ここからがスタートです(^_^)v

5. 今を楽しむ人は希望を語り、今から目を背ける人は不満を語るが多くなります

6. 愛を求めて生きる人は、最も愛を与えている人でもあります(^_-)

